

## 令和3年度ニホンザル管理事業実施計画における主な変更点について

### 1 H群

H群の群れ管理目標を「適正配置のための群れの縮小・維持」から「管理困難な群れの除去」に変更する。(詳細については資料4-1、資料4-2に記載。)

### 2 川弟B1群

川弟B1群は、令和元年度に川弟B群からの分派が確認されていた群れで、今年度のモニタリング調査により50頭の群れであることが判明した。群れの行動域である愛川町、清川村によると、現状、被害等が確認されていないことから、群れの管理目標を「適正配置のための群れの縮小・維持」とし、今年確認された50頭程度で維持していくことを目標とする。

### 3 T1群

令和2年度の実施計画では、目標頭数を30頭としていた群れであるが、今年度のモニタリング調査では、24頭であることが確認された。T1群が属する西湘地域個体群は絶滅が危惧されている地域個体群であるものの、T1群は市街地への出没が多く、群れの加害性が高いことから、今年確認された頭数程度で維持することとし、目標頭数を25頭とする。

### 4 煤ヶ谷群

煤ヶ谷群には、GPS首輪の装着個体がおらず、群れの行動が把握できていない。生息状況については、厚木市の追い払い員等からの情報により把握していたが、令和2年9月に1頭が捕獲されて以降、目撃情報等が寄せられていない。そのため、除去されたものと判断し、令和3年度の計画には記載しないこととした。